



第129号

慈光

社会福祉法人遠州仏教積善会
 救護施設 慈照園
 静岡県浜松市中央区鴨江3-4-3
 TEL 053-452-3069
 FAX 053-452-3074
 URL <http://jishoen.jp>

「一年の計は元旦にあり」

社会福祉法人 遠州仏教積善会

会長 左右田泰丈



新年明けましておめでとうございます。

つつがなく新年を迎えることが出来ました。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年12月12日、私は5年ぶりに福井県の曹洞宗大本山永平寺に拝登しました。積雪を心配していましたが、まだ大丈夫でした。永平寺の従業員さんにお話をうかがうと、だんだんと初雪が遅くなっていて、成道会の報恩接心（12月1日から8日）が終わっても、まだ降っていない、とのことでした。私が修行した平成元年は、11月の終わりにはかなり積もり、静かな接心だったのを思い出します。昨年3月から修行に入った、近隣のお寺のお弟子さんに会いました。上山する前には緊張して、おどおどして見えた彼も、8カ月が経ち、堂々として、しっかりと、雲水（修行者）の顔をしていました。「初心忘るべからず」私自身もその緊張感を忘れてはいけない、と思い続けています。なお、帰宅した数日後、大雪となったニュースが流れていました。

さて、昨年は、慈照園の改修増築工事も完成し、快適な1年を過ごすことができました。各種行事もかなり元に戻り、地域との交流、感謝の集い、ゼミナール、近隣施設との交流会など、人々とふれ合いながら日々を送っています。職員も、対面の研修に参加して研さんを積みました。12月には、赤い羽根共同募金の助成を受け、こども食堂を初めて開催しました。慈照園として地域に対してできることを模索していきます。

また、昨年10月より救護施設における個別支援計画作成の義務化と地域移行加算の創設がされました。利用者の皆さんが生き生きと生活できるよう、今まで以上にご本人と福祉事務所との話し合いを入念にし、実効性のある個別支援計画作成とそれに基づく支援に努めてまいります。

一人一人が「初心を忘れず」日々の生活を送りたいと思います。

今年1年の皆さま方の益々のご健康とご多幸をお祈りします。

「歳末助け合い募金」助成金 令和6年度 “赤い羽根”子ども食堂助成金事業



地域貢献

慈照園子ども交流会「としわすれえんにち」を12月15日に開催しました。

地域の子供11名、大人11名、ボランティア2名、職員6名が参加し、カレンダーづくりや食事をみんなで楽しみました。参加した子どもからは「楽しかった。食事が美味しかったし、きれいだった。」と感想がありました。園の給食業務委託業者（有）マック様の協力により手作り弁当を用意しました。

「防災」

～南海トラフ地震の取り組み～

令和6年は、能登半島地震から始まり、8月8日に九州地方で起こった地震により南海トラフ地震臨時情報が発令され不安な日々を過ごしました。このように、地震はすでに他人ごとではなく、今すぐにでも起こりえる身近なことになっています。

今回は、慈照園で行われている、防災の取り組みを紹介します。



避難訓練。毎月、地震や火災を想定して建物南側に避難する訓練を実施。



搬送訓練。けがをして動かせない場合どのように、移動させるかを体験。

テント設営訓練。建物が崩壊した場合、雨を防ぐための訓練。ブルーシートを敷きここで食事となることも想定しています。



緊急時浄水装置始動訓練。プールの水などを浄化して飲料水にすることができる装置。



大型のガスコンロ（まかないくん）。プロパンガスで直炊きすることが可能です。ガス炊飯器も用意しています。



11月に行われた防災訓練で、レトルト食品（梅お粥・豚汁）を温めたものと非常食の茶わん蒸しを実食しました。

地域との連携

防災は、園単独では出来ません。日頃から地域と連携し、防災力を高めています。



近隣の鴨北自主防災隊が中心になった防災訓練に、利用者が地域の一員として参加しました。



AED(自動体外式除細動器)の訓練。慈照園にも、設置してあります。

静岡DWATに職員1名が登録しました。

福祉の専門家として、被災された方に何が必要か、アセスメントを行い、資源やサービスに繋げていくことが活動です。何よりも、安心して話を聞かせていただける状況を作れるかが大切だと思われました。

* DWATの説明は第4面をご覧ください。また、随時開催されるエリア会などで、災害の情報共有や防災の知識を高めていきます。



7月12日 静岡県救護施設カラオケ大会
サーラ音楽ホールにて熱唱してきました。



8月1日 地域子ども交流会
地域の方々や愛恵保育園の園児が訪れ、ボラン
ティアさんのマジックを楽しみました。



12月2日 園内スポーツ・ゲーム大会
地域交流室 何年ぶりに復活！パン食い競争で盛
り上がりました。



11月19日 秋のゼミナール
豊川稲荷とのんほいパーク（豊橋）に行ってきました。



7月24日 慈照園盆踊り大会 地域交流室
子どもを含む地域の方々を招いて楽しみました。



8月23日 静岡県救護施設ボウリング大会
6施設が集まり交流を深めました。団体戦、
個人戦も上位の成績を収めました。



9月29日 鴨江北町2024秋祭りに参加
浜松拘置所前広場にて、ゲームなどを出店し、地
域の方々と交流を深めました。



12月5日 救護施設スポーツ大会
西部地区の4施設が集まり競い合いました。
結果、総合1位に輝きました。

日
々
の
ひ
と
こ
ま

こ だ ま	「静岡DWATの紹介」		ありがとう	
	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会（静岡DWAT事務局） 福祉企画部経営支援課 村松 菜々		寄付金：匿名様 お茶：トクダ薬局様 ろうそく：大昌寺 青島様 みかん：鈴木祐一様 「楽しい集い」参加：愛恵保育園様	
	DWATとは「Disaster Welfare Assistance Team」の略で、大規模災害が発生した際、災害関連死を防ぐことを大きな目的の一つとして、避難所等で福祉や介護の専門的な視点から被災者支援活動を行うチームのことです。静岡だけでなく、全国の都道府県で組織されています。		「観音様の日」 7月・8月・9月・10月・11月 瑞生寺住職 左右田泰丈 師 12月 観音様住職 塚本高大 師	
	静岡DWATは、県内の福祉関係団体に所属する福祉施設等の職員（社会福祉士、介護福祉士、保育士、生活相談員等）でチームを編成して活動しています。		お世話になります「ボランティア」	
	平成30年の西日本豪雨災害時に岡山県倉敷市で初めての派遣活動を実施し、その後は、令和3年熱海市伊豆山土砂災害、令和6年能登半島地震災害で活動しました。		茶道・生け花クラブ	斎藤 直美 様
活動内容は、保健師や理学療法士等の他の専門職と協力しながら、避難所の環境整備や避難者の体調確認、ニーズ調査等の聞き取り、福祉なんでも相談等を行いました。		ハンドマッサージ	住吉 苗子 様	（N）日本アニマルセラピー協会 浜松支部
また平時の取組として、地域住民や自主防災会等での出前講座を実施しており、DWATの紹介や段ボールベッドの組み立て体験、移送支援用具の説明などを行って防災への意識啓発を行っています。		ヨーガクラブ	山内亜紀子 様	
DWATの出前講座のお問い合わせは、静岡県社会福祉協議会（054-254-5231）までお願いします。		絵手紙クラブ	鈴木八重子 様	
		音楽クラブ	木村 裕子 様	
		スポーツクラブ	市内高校生2名	
		室内ゲームクラブ	伊藤 聖一 様	浜松マジッククラブ（HMC）
		アニマルセラピー		
		地域こども交流会		佐伯みゆき 様 大木崇央 様
		としわすれえんにち		
苦情解決システム実施状況（苦情相談内容）				
令和6年7月1日～令和6年12月12日				
	所属	相談内容	対応	結果
1	利用者	慢性的な便秘で悩んでいます。	薬剤師の第三者委員に相談。便秘薬の適切な服用と散歩、気分転換方法の助言を受けた。	解決
2	利用者	A職員の言い方、口の悪さが気になる。	A職員、苦情解決の担当者と三者面接。言葉遣いの注意をした。	解決
3	利用者	苦情解決担当者より提案し、無断外出をしてしまった利用者Bさんの話を聞いてもらった。	第三者委員が面接。無断外出した経緯、今後の目標を傾聴した。	解決
4	利用者	行事アンケート調査に名前を書いたら、誰かに消された。	苦情受付担当者が利用者朝礼にて、いたずらを止めるように注意を促した。	経過観察中
5	利用者	自分の服用している薬に、どんな副作用があるか知りたい。	第三者委員（薬剤師）が面接。向精神薬の副作用を説明し納得された。	解決
6	利用者	同室者Cに殴られそうになった。部屋を替えて欲しい。	苦情受付担当者が仲裁に入り、Cに謝罪してもらった。その後、暴力行為は無いが申出人からCが怖いと再度相談があり部屋替えを実施した。	解決
7	利用者	喫煙所で男女が一緒に喫煙している。男女別の喫煙が約束ではないか？	苦情受付担当者が当事者に注意を促した。その後、男女別の喫煙が守られている。	解決
8	利用者	給食で魚ばかりでている。	苦情受付担当者が当事者と面接。栄養上、肉と魚は1対1の割合が良いとされている。当園事業計画書の食料構成基準で魚介類が1日80gとなっており、現状の献立を理解してもらった。	解決